

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7 (建産連会館内4F)
TEL 048 (864) 0385
URL http://www.saidenkyo.jp/
E-MAIL kyokuchou@saidenkyo.jp

さいのかがやき

彩の耀

第 150号

平成19年9月28日発行

発行人 佐野良雄
編集人 広報委員会
(委員長 浅子 洋)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

会員大会

更なるステージへ 通年3事業を一本化し開催



変革への努力を強調と訴える佐野会長

7月11日、平成19年度会員大会をさいたま市内の浦和東武ホテルで開催しました。大会は今まで開催していた通年事業のうち3事業を一本化し、第1部に安全大会、第2部に講演会、第3部の懇親会で構成しました。出席いただきました会員の皆様は、この大会を更なる発展へとつなげるステージとしたいと誓い合いました。

第1部 安全大会

安全大会を前に佐野会長は「基本的な作業手順、安全基準を順守する事と各現場での安全朝礼で指摘された点を意識しながら作業を進めていく事が肝要です」と、それぞれの企業で今まで以上の安全作業に努めるよう要請しました。

安全講話は、埼玉労働局の貴島裕徳・主任産業安全専門官が労働災害発生状況を基に講演しました。貴島講師はリスクアセスメントの重要性についてイギリスの例をあげて説明し、注意を促していました。また夏期に最も注意する点として「熱中症」をあげ、「基本は休み休みの安全作業」と伝え①狭い所での作業に特に注意②2時から4時までが特に多い③自宅に帰ってからもう心-を強調していました。

引き続き安全スローガン『組織で進めるリスクの低減 今一度確認しよう安全職場』を参加者全員で唱和し、第1部を終了しました。

第2部 講演会

講演会ではイラク戦争をはじめ中東地域研究でテレビなどの出演も多い大野元裕氏が「国際情勢と日本」をテーマにお話ししていただきました。

内容は①国際政治と外交②今後の重要な政治日程(米露の首脳交代、イラク・北朝鮮問題など)③日本の外交のあり方(テロ予防、対中東外交、対中国戦略など)などを資料をもとに説明。事故などが発生してから何ら

かの対策(ダメージコントロール)を講じるのではなく、危機管理体制を充実させ事故発生を最小限とする「クライシスコントロール(クライシスマネジメント)が最も大事」と結び、有意義に講演は終了しました。

第3部 懇親会

主催者を代表して佐野会長は「知事をはじめ多くの来賓をいただき、ありがとうございます。発注形態が見直しされる中、我々も新制度移行により過渡的な戸惑いも生じました。しかし会員企業が世の中の変化を真摯に受け止め、変革への努力をさらに強め、それぞれが進むべき道を見つけていきたい」と会員を代表して決意を表明しました。

来賓の方々のあいさつは次のとおりです(要旨)。

上田知事(代理出席篠塚部長) = ロードサポートボランティア活動や災害時の公共施設復旧協力に感謝申し上げます。今後とも綿密な連携をお願いします。

吉田県議会議長 = 電気エネルギーは最も重要なライフラインで、安心・安全には欠かせません。人材育成にも力を入れ、安全で快適を県民に提供してください。

中島関東地方整備局長 = ①事業推進は選択・集中②安心・安全で③高齢者対応④素晴らしい環境を後世に—以上4つの柱を7325億円で進めますので、ご尽力をお願いします。

関根建産連会長 = 品確法、独禁法、ダンピング—と環境は日々変化し厳しくなっています。技術力・経営力強化で素晴らしい社会資本整備に貢献していきましょう。



120人が参加した19年度会員大会

「彩の耀」に寄せて



ふじみ野市章

時の人

ふじみ野市長

ふじみ野市 市章

ふじみ野市の「F」の文字を基調に、輪は市民相互の融和を表し、舟運の面影を残す新河岸川の青と武蔵野の自然をイメージした緑を配し、さらに萌え出る若葉から鮮やかな緑へと移り変わる様は、まちと自然の調和を図り躍進するふじみ野市を表しています。

島田 行雄

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃、電気設備産業の適切な運営と健全な発展にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

ふじみ野市は、平成17年10月に旧上福岡市と旧大井町が合併して誕生しました。都心から30キロメートル圏に位置し、川越市、富士見市、三芳町に隣接する人口約10万5千人の都市です。東武東上線上福岡駅とふじみ野駅の2駅が利用でき、相互乗り入れの地下鉄有楽町線で都心と約1時間で結ばれています。市域は、東西約7.5キロメートル、南北約6キロメートルあり、面積は14.67平方キロメートルで、東部には富士見川越有料道路(国道254号バイパス)が、西部には関越自動車道が、ほぼ中央には川越街道(国道254号)が、それぞれ市を南北に貫いています。

昭和34・35年の上福岡駅前の日本住宅公団の団地開発と併せて、研究所の街として、また、東京のベッドタウンとして人口の急激な増加と都市化が進みました。その後、平成5年のふじみ野駅開設に合わせて、周辺5地区約179万7千平方メートルの土地地区画整理を実施し、全国第1号のアウトレットモールである「リズム」の誘致やシネマコンプレックスを含む大型商業施設の誘致を行い、人口が増加を続けています。また、平成18年完成の上福岡駅西口再開発事業や都市再生機構による大規模団地の建替事業で、新しい街の顔が形成されたことで、東武東上線沿線の新たな拠点として、当市の今後のさらなる発展の基盤を整えました。

現在は、合併時の新市建設計画と旧市・町の総合振興計画をもとに、平成20年度から平成29年度までの10か年のふじみ野市の総合振興計画を策定しています。その

原案で「自信と誇り そして愛着のあるまち ふじみ野」を将来像に、市民が、これまでの歴史や文化などを尊重しながらも、新しく誕生した「ふじみ野市」のまちづくりに携わっていくことで、住んでいることに自信と誇りを持ち、そこからふるさと意識が生まれ、市民にとって愛着のもてるまちになることを目指せたらよいと考えています。

少子高齢化の進展、地方分権の推進により、社会保障関連費の増加や高度・多様化する市民ニーズへの対応など、行政の権限を市民に身近な地方自治体にできるだけ移し、地方自治体自らの責任と判断で地域の進むべき方向を定め、その実情に応じた施策を展開するような自主・自立性の高い行財政運営が求められています。当市でも厳しい財政状況の中で、サマーレビュー(5月からの事務事業の見直し)を行い、予算編成作業を前倒しし、単年度を見るだけでなく数年先を見通した計画行政が最も重要であると考え、予算編成をしています。

また、今日的に安全で安心な公共施設管理を徹底するとともに、行政管理室を設けて検査体制を強化しました。また、若い世代の多い市として児童増加の対策である東台小学校の新規建設や既存の校舎耐震補強工事など教育環境の整備に全力で取り組んでまいります。

結びに、7月の新潟県中越沖地震の被害状況でも日常生活基盤を支える電気設備の重要性を改めて思い起こさせられました。このような重要な産業を担ってご活躍を続けられている貴社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

石綿作業主任者講習

県民に安全・安心を提供
会員企業から28人参加あいさつする
中村委員長事業
主要

石綿作業主任者講習会

協会は6月21日・22日の両日、さいたま市南区の建産連研修センターで会員企業社員を対象とした、石綿作業主任者技能講習会を開催しました。

講習会を前に主催者を代表して中村章一事故防止対策委員長があいさつに立ち「本日受講されるアスベストは、体内に入り

込むと二度と体外に排出されない非常に厄介な物質で、人命に大きく関わってきます。現場作業で事故の無いよう、本日と明日の2日間講習で県民の皆様に安全・安心を提供出来るよう、しっかり勉強していただきたい」と受講者全員の合格を願うとともに、アスベスト被害を出さないよう安全作業を訴えていました。

講習会には会員企業から28人が参加。初日の講義を元東武谷内田建設取締役で、現在安全コンサルタントをされてる島村広幸氏が①作業環境の改善方法に関する知識②保護具に関する知識-を夕方5時まで実施。

翌22日は午前の講義を薬剤師の若山京子さんが、健康障害およびその予防措置に関する知識を担当。午後は元浦和(現さいたま)労働基準監督署長の西栄一氏が講師を務め、試験に最も重要で難関の関係法令について講義していただきました。

講習会修了後に試験が行なわれ、合格者にその場で修了証が手渡されました。

技術講習会

施工計画書を作成する際のポイント説明
現場代理人や発注者など約80人参加

8月1日に南区の建産連研修センターで「19年度第1回技術講習会」を開きました。当日は会員企業の現場代理人のほか発注者など約80人が参加し、電気工事における『電気設備工事・施工計画』について熱心に勉強していました。

講習会の冒頭あいさつに立った佐野会長は「受注産業である我々にとって施工計画は非常に重要な意味を持っています。施工現場は1つの経営体として動き、工程管理はもちろんコスト管理、安全管理なども見ていかなければなりません。工事の良し悪しも、施工計画がしっかりとできていないかどうかにかかっているといっても過言ではありません。特に最近は厳しい単価で受注せざるを得ない状況にあり、当初の施工計画どおりに進めなければ手戻りが出たり無駄が出てしまうことがあります。さらに時代の流れとして総合評価入札制度があり、施工計画などの実績も重要なポイントとなってきています」と施工計画の重要性を説き、参加者にしっかりと勉強し講習を役立ててもらいたいと述べていました。

講師には三機工業の松本克巳・技師長を招き、施工計画書の要



施工計画書の作成について熱心に聞き入る参加者

点について解説いただきました。実際に施工計画書を作成する際のポイントを分かりやすく説明いただきました。松本氏は「今日使うテキストは、どうすれば現場管理が効率化できるかを研究した方々の執筆であり、実際に現場で働いている人達にとって役立つように編集・作成しているの、実際に計画書を作る際にはこのテキストを参考にすると作業効率があがるはず」とテキストの有効利用をアドバイスしていました。

これで資格はまる



『電気工事施工管理技士』取るぞ計画 【学科試験対策】



SEEDO
関根 康明

■学科試験の概要

●試験科目と配点

① 電気工学等 ② 施工管理法 ③ 法規

18年度の科目別の出題数と解答数は表の通りです。()内は解答数。

級	電気工学等※1	施工管理法※2	法規	計
1級	58(32)	21(18)	13(10)	92(60)
2級	39(23)	19(9)	11(9)	64(40)

※1 必ず解答しなければならない問題あり。

※2 工事施工に関する問題は、便宜上、施工管理法に含めた。純粋に施工管理の問題は、1級12問(全問必須解答)、2級8問(選択可)。

●試験日

例年、1級学科は6月第二日曜日(実地試験は10月第三日曜日)、2級学科は11月第二日曜日(実地試験は同日の午後)に実施されます。

●合格基準

1級学科:92問が出題され、60問を解答。(60×60%=36問以上正解で合格)

2級学科:64問が出題され、40問を解答。(40×60%=24問以上正解で合格)

ただし、必ず解答する問題もあるので注意。

●合格率

平成18年度のデータは表の通りです。

級	種別	受験者数	合格者数	合格率
1級	学科	17,367人	7,096人	40.9%
	実地	8,670人	5,263人	60.7%
2級	学科	5,482人	2,928人	53.4%
	実地	5,201人	2,124人	40.8%

年度により多少の変動はありますが、大体このような合格率で推移しています。

1級は学科の合格率が低く実地は高いが、2級はその逆です。学科試験においては、1級がやや広範囲で深い知識が要求されるのに対して、2級は概略の知識でも解ける問題が多いようです。

実地試験では、施工体験記述等の問題を見ても、1、2級の差がそれほどあるとは思えません。さらに2級は、学科・実地の試験を同日に実施するという点です。1日で済むというメリットはありますが、そのための準備は受験者の負担となるでしょう。実地の合格率を下けている要因のひとつではないでしょうか。

■学科対策

●電気工学等

電気工事の施工に必要な電気工学、土木工学、機械工学及び建築学に関する知識が問われます。もちろん主体は電気で、理論、電気設備、工事に関するものが多数出題されます。

選択問題が多いので、一見楽そうですが、専門外の問題もたくさんあるので、解答できる問題は限られてきます。

内線工事、外線工事、発変電、電気鉄道等広範囲ですが、これは受験者の業務が多岐にわたっているため、自分の専門分野を重点的に学習すればよいでしょう。たとえば、内線工事を主とする電気工事会社に勤務の場合、電気鉄道は専門外なのでこれに時間を割くことは有意義ではありません。

●施工管理法

電気工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する問題です。

1級については、施工管理法12問はすべて解答するので、密度の高い学習が要求されます。

繰り返し出される問題が多いので、過去問題を十分やっておくとよいでしょう。

●法規

建設工事の施工に必要な法令、特に「建設業法」、「労働安全衛生法」から最も多く出題されます。次に、「電気事業法」、「建築基準法」、「消防法」。そして、「電気工事士法」、「電気工事の業務の適正化に関する法律」、「建築士法」、「労働基準法」、「電気用品安全法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「環境基本法」、「電気通信事業法」です。過去3年間に、ざっとこんな法律から出されています。

こんなに覚えるのか、とため息をつかれた方、驚かせてすみません。建設業法、労働安全衛生法など、出題内容は大体同じで、過去問題に十分あたっておけば大丈夫です。他の法律も1題程度ですから、法令集と首っ引きになるようなことはありません。

■学習方針

●余計なものは学習しない

限りある時間を有効に使うには、施工管理技士試験に必要なものだけを覚えることです。

学生時代の電気の教科書や一般書から勉強するのではなく、電気工事施工管理技士専門の参考書、問題集を選んで勉強するのが良い方法です。

●「完全」の魔力に取りつかれない

完全主義、完全試合、完全無欠の「完全」という文字の魔力。

これに取りつかれると、まさに重箱の隅をつつくような、マニアックな勉強の虜になってしまいます。100点満点として、50点を60点にするのはそう難しくありませんが、90点を100点にするのはまず不可能とっていいと思います。

合格基準点より+10点を目指すのが効率的です。合格ラインが60点なら70点を目標にするのです。

試験で満点をとっても合格点ぎりぎりでも、手にする資格は同じです。

◆関根 康明 (せきね やすあき)

1951年、埼玉県川越市生まれ。埼玉県庁勤務の後、SEEDO (SEkine

Engineering Design Office) 代表。出前講座、資格取得支援等をおこなっている。

第29回たたら祭り

三位電気(株) 代表取締役 佐藤 照彦

協会だより
南部支部

たたら祭りは昭和54年に川口の市民祭りとしてスタートして今年で29回目になります。今回は8月4日と5日に開催されました「第29回たたら祭り」について寄稿させて頂きたいと思ひます。

たたら祭りは「祭りをつくろう ふれあいの街」をテーマに、8月4日に市役所前通りやオートレース場通りを会場として、太鼓や踊りで賑わう「宵祭り」が行なわれ、流し踊りでは41チーム6,000人が踊りを披露しました。そして、8月4日・5日にメイン会場のオートレース場内で行なわれる「本祭り」では、露店も数多く出店されてお祭りムードを盛り上げていました。また、物産展、植木市、おばけ屋敷、パズール、ライブステージ、みこし巡行、オートレース場ならではのプロ選手による模擬レースや花火大会などの多くのイベントが行なわれまして、今年では43万2千人の来場者で賑わいました。

ところで、お祭りの名称に使われています「たたら(踏鞴)」について触れさせていただきますと、川口市は鑄物の町としてよく知られていますが、「たたら」とは、製鉄時に炉を高温に保つために炉へ人工的に空気を送るための「ふいご(吹子・鞴)」のことで、足で踏み込んで使う「ふいご」のことだそうです。会場内では鑄物作りを実演し、実際に型作りから参加して、でき上がった鑄物製品を本人にプレゼントする体験コーナーもあり、たくさんの人が鑄物

作りに挑戦していました。また、鑄物製品といえば昔懐かしいベーゴマがありますが、小学生が楽しそうにベーゴマを廻して遊んでいる光景が印象的でした。

余談になりますが、電気工事の視点からお祭りを見てみますと、お祭りの演出に欠かすことのできない「提灯」が目に入ります。そこで、たたら祭りではどのくらいの数の提灯が使われているか調べてみましたところ、実に約3,300灯もの提灯が使用されているとのこと、その数の多さに驚きました。

お祭りに話を戻しますと、お祭りのフィナーレは場内から打ち上げる約3,000発の花火です。河川敷で行なわれる花火大会とは異なり、オートレース場という限られたスペースの中で、真下から見上げる花火は迫力満点ですので、是非ご覧になって頂きたいと思ひます。

来年のたたら祭りは第30回を迎える節目の年になります。会場までは駅から無料バスが出ていますので、毎年お越し頂いている方は勿論ですが、初めての方も「たたら」がつくる風を感じに是非お越し下さい。最後になりましたが、今年もたたら祭りを支えて下さいました関係者の方々に、お祭りを盛り上げて頂き、私たちを楽しませて下さいましたことを心から感謝申し上げます。

たたら祭り公式ホームページ<http://www.cablenet.ne.jp/tatara/index.html>



流し踊り



みこし巡行

ウォーキングの勧め

(株)長井電機 代表取締役 長井 公男



いつも大変お世話になっております。父、長井一美が亡くなって早いもので3年過ぎました。私も昨年10月に(株)長井電機の代表取締役に就任し、今更ながら亡父の人脈の広さ、仕事に対する情熱等、再

認識する日々です。未熟者ではありますが皆様方の御指導、御鞭撻を賜りながら父の残してくれた会社を守り、発展させていきたいと思っております。今後共よろしくお願い致します。

さて、私はここ何年か年1回ずつ人間ドックに行っております。早期発見、早期治療をモットーに体の隅々まで検査しております。後日結果が送られて来ますが、その中に「1日1万歩を目標に歩いて下さい」とか「食生活に注意し、塩分の取りすぎに気をつけましょう」とか書かれています。そこで医師や栄養士の指導通り、日常生活の改善に努めようと努力するのですが、何分意志が弱いのか、うまく改善することが出来ません。食生活の方は妻に任せる事にしても、運動不足の方は自分で何とかしなくてはなりません。

私の家にはペットがおります。10月末に11歳になる老犬です。

先日この老犬の体調が悪くなり、かかりつけの獣医師に適切な処置をしていただきました。人間の年齢に換算すると75歳と高齢なので心配しましたが、完治出来安心しました。人間も動物も年を取ると体の色々なところに不具合が起きてくるものだと実感しました。そこで私は妻と一緒にこの老犬の散歩をすることによって、日頃の運動不足を解消に努めようと思ひました。時間にして30分程、歩数にすると3,000歩程です。散歩を始めてから、体重や体脂肪率に劇的な改善が表れませんが、体の中では改善がみられるようになりました。肝機能や血圧、中性脂肪、コレステロール値等、明らかに改善されてきました。

以前、人間ドック専門医の著書を読む機会があり、その中に、「1日1万歩のウォーキングを患者に勧めても長続きしないので、1日1,000歩、時間にして10分程、1週間7,000歩増やす努力をして下さい」という指導をするように変えたところ、患者も守れるようになり、検査結果にも改善がみられるようになったと書かれていたことを思い出し、自分の体の中でも同様なことが起きたのだとわかりました。

「自分の健康は自分で守る」という基本を大切にこれからもペットとの散歩を続けて行きたいと思ひます。

これから運動を始めるのには良い季節となります。皆様も1日1,000歩増やす努力をなさってはいかがでしょうか。

7月

24日 事故防止委員会

8月

1日 第1回技術講習会
「電気設備工事・施工計画」

21日 企業対策委員会

9月

11日 第6回理事会、倫理委員会、災害復



旧対策講習会

28日 1級電気工事施工管理技術者検定
試験受験準備講習会(実地コース)1/2

10月

5日 1級電気工事施工管理技術者検定
試験受験準備講習会(実地コース)2/2

17日 企業対策セミナー

31日 [協会共催]埼玉県設備設計事務所
協会技術研修会

(社) 埼玉県電業協会会員

支部長 ◎ 副支部長 ○

さいたま支部 (19社)

- 旭電気工業株(大宮区)
- 宇田川電気工事株
埼玉支店(大宮区)
- 内田電設株(岩槻区)
- 浦和電気工事株(南区)

- 大塚電設株(浦和区)
- ◎株岡村電機(緑区)
- 国益電設工事株(南区)
- 埼玉電設株(中央区)
- 三洋電設株(南区)
- 新生電気工事株(見沼区)
- 竹内電気株(岩槻区)
- 株積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業株(見沼区)
- 浜野電設株(北区)

- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設株(北区)
- 三津工業株(南区)
- ムサン電機工業株(桜区)
- 株八洲電業社(北区)

西部支部 (18社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 島村電業株(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- ◎株大広電気(八潮市)
- 太平洋電設工業株(越谷市)

東部支部 (10社)

- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事株(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- ◎株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事株(狭山市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業株(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 株中村電気(新座市)
- 橋電株(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- 馬場電気工業株(新座市)
- 浜田電機株(坂戸市)
- フジヤ電気工事株
(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

南部支部 (11社)

- 内山電設株(川口市)

- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気株(川口市)
- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機株(川口市)
- ◎三位電気株(川口市)
- 高山電設工業株(川口市)
- 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機株(川口市)
- 那須電機工業株(川口市)
- 領家電設株(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノ株(行田市)
- 株エコー(深谷市)
- 岡根電気工事株(本庄市)
- 小沢電気工事株(行田市)
- 共和電機株(秩父市)
- ◎熊谷電機株(熊谷市)
- 株栗原電機(深谷市)
- 霜田電気株(皆野町)
- 中外電気工業株(深谷市)
- 株東電工業社(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設株(東松山市)
- ムサン電機工業株
(行田市)
- 株躍進電気(深谷市)

(さいたま市)



雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

<雇用開発業務>

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

<能力開発業務>

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8